

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「テンプレトン・グローバル株式ファンド（愛称：株の祭典）」は2015年11月30日に第9期の決算を行いました。当ファンドは、主として世界各国の株式を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

第9期末（2015年11月30日）	
基準価額	10,195円
純資産総額	1,543百万円
第9期 （2014年11月29日～2015年11月30日）	
騰落率	-3.4%
分配金合計	0円

(注) 騰落率は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

テンプレトン・ グローバル株式ファンド （愛称：株の祭典）

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第9期（決算日 2015年11月30日）

作成対象期間：2014年11月29日～2015年11月30日



FRANKLIN TEMPLETON
INVESTMENTS

フランクリン・テンプレトン・インベストメンツ株式会社
東京都港区六本木1丁目9番10号

〈お問い合わせ先〉

お客様ダイヤル

電話番号：03-6230-5699

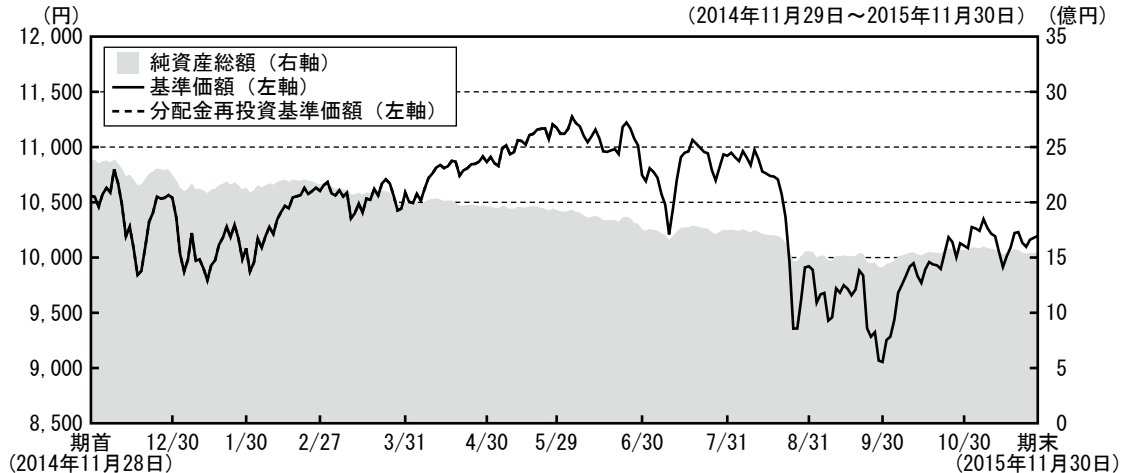
受付時間：9:00～17:00

（土・日・祝日および12月31日・1月2日・1月3日を除きます。）
ホームページ：<http://www.franklintempleton.co.jp/>
お客様の口座内容などに関するお問い合わせは、お申込みされた販売会社までお願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。上記〈お問い合わせ先〉ホームページの「ファンダー一覧」から当ファンドのファンド名称を選択することにより、当ファンドの詳細ページにおいて「資料・レポート」の中から運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付を請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

運用経過の説明

1 基準価額等の推移



第9期首：10,559円
 第9期末：10,195円 (既払分配金0円)
 騰落率：-3.4% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入金額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 当ファンドが投資を行う投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定していません。

2 基準価額の変動理由

(上昇要因)

- ・外国為替市場で米ドルが円に対して上昇したこと
- ・地域別では、保有する一部の米国企業の株価が上昇したこと
- ・セクター別では、保有する一部のヘルスケア関連企業の株価が上昇したこと

(下落要因)

- ・地域別では、保有する一部の欧州やアジア企業の株価が下落したこと
- ・セクター別では、保有する一部の資本財・サービス、エネルギー、電気通信サービス関連企業の株価が下落したこと

3 1万口当たり費用明細

項目	当期 2014年11月29日～2015年11月30日		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	130円	1.249%	(a) 信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率、期中の平均基準価額は10,430円です。 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、開示資料作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ファンドの運用財産の保管・管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(29)	(0.282)	
(販売会社)	(96)	(0.923)	
(受託会社)	(5)	(0.043)	
(b) その他費用	2	0.015	(b) その他費用＝ $\frac{\text{〔期中のその他費用〕}}{\text{〔期中の平均受益権口数〕}}$ その他費用 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(保管費用)	(1)	(0.007)	
(監査費用)	(1)	(0.007)	
合計	132	1.264	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

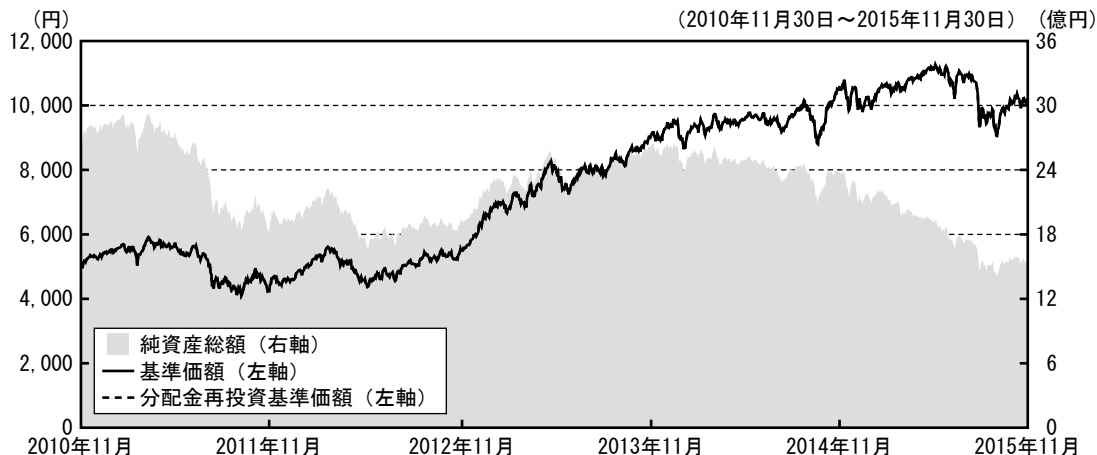
(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」等が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示しております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

4 最近5年間の基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入金額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2010年11月29日 決算日	2011年11月28日 決算日	2012年11月28日 決算日	2013年11月28日 決算日	2014年11月28日 決算日	2015年11月30日 決算日
基準価額 (円)	5,086	4,243	5,497	9,088	10,559	10,195
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	-16.6	29.6	65.3	16.2	-3.4
純資産総額 (百万円)	2,729	1,833	1,910	2,627	2,384	1,543

(注) 当ファンドは、「テンブルトン・グロース・ファンド Advisor Class」、「フランクリン・テンブルトン・インベストメント・ファンズーテンブルトン・グロース (ユーロ) ・ファンド Class I (Ydis) USD」および「テンブルトン・グロース・ファンドⅡ」に投資するファンド・オブ・ファンズです。

ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

5 投資環境

(世界の株式市場)

当期の世界株式市場は、各国・地域の経済、金融政策、並びに原油価格など国際商品価格の動向に左右される展開となりました。期首から2015年5月半ばにかけては、米国の景気回復や企業業績の改善、欧州中央銀行（ECB）による量的緩和策とユーロ安によってユーロ圏経済が回復したことなどが好感され、世界の株式市場は全般に上昇しました。その後、米国の利上げ観測や原油価格下落によるデフレ懸念、そしてギリシャ問題の再燃などから世界の株式市場の上値は重くなりました。8月には、中国人民銀行が人民元を切り下げたことや中国経済の減速懸念などから世界の株式市場は大幅に下落しました。特に投資家のリスク回避姿勢が強まったため新興国の株式市場は先進国を上回る下落幅となりました。当期末にかけては、米雇用統計が市場予想を大きく上回る堅調な内容となったことを受け、世界の株式市場は上昇し期首とほぼ同水準で当期を終えました。

(外国為替市場)

当期の外国為替市場では、期首から2015年5月半ばにかけては、各国・地域の金融政策や米国の利上げ観測などから米ドルの対円相場は1米ドル120円を挟む狭い範囲の動きに終始しました。その後、堅調な米国経済指標を受けて利上げ観測が強まったことで、ドル円相場は一時1米ドル125円台後半まで上昇しました。しかし、中国人民銀行による人民元切り下げをきっかけに世界の株式市場が急落する中、リスク回避の動きから円買い需要が強まり、米ドルは8月半ばに一時1米ドル116円台前半まで下落しました。期末にかけては、米国の雇用環境の一段の改善を受け、再び利上げ観測が強まり米ドルの対円相場は122円台後半まで上昇し当期を終えました。

6 当該投資信託のポートフォリオ

(当ファンド)

投資対象ファンドである「テンプレートン・グロース・ファンド（米国籍投資法人）」、「フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・グロース（ユーロ）・ファンド（ルクセンブルク籍投資法人）」および「テンプレートン・グロース・ファンドⅡ（ケイマン籍投資法人）」に投資を行いました。当期末の各ファンドの組入比率は、米国籍が14.4%、ルクセンブルク籍が14.6%、ケイマン籍が70.0%となりました。

(投資対象ファンド)

投資対象ファンドの組入れ状況をMSCI World インデックスと比較すると、業種ではエネルギー、ヘルスケア、電気通信サービス、金融などの組入比率が高くなっている一方で、生活必需品、資本財・サービス、情報技術、一般消費財サービスなどの組入比率が低くなりました。また、地域配分では、欧州株式やアジア株式（除く日本）の組入比率が高く、米国株式と日本株式の組入比率が低くなりました。

7 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークや参考指数を設けていないため、本項目は記載しておりません。

8 分配金

当期の収益分配は、基準価額の水準、市況動向等を勘案し、見送ることとしました。分配に充てなかった収益につきましては、投資信託財産中に留保し、特に制限を設けず元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第9期
	2014年11月29日～2015年11月30日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	921

(注) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

○市場見通し

世界の株式市場は、企業業績やバリュエーション指標を勘案すると全般には割安な水準にあると考えます。通常の市場環境下では、歴史的にバリュー（割安）株はグロース（成長）株をアウトパフォームしてきました。しかし、世界的な金融危機以降、一部の成長企業への投資に傾注する相場環境が続きました。その結果、バリュー株のリターンはグロース株に対し相対的に劣後しました。こうした相対的に割安な水準にあるバリュー株は、米国の金融政策が正常化して企業のファンダメンタルズが重視される相場環境に回帰するなかで再び見直されるものと考えます。

○運用方針

（当ファンド）

当ファンドは、運用の基本方針に基づき、投資対象ファンドである「テンブルトン・グロース・ファンド（米国籍投資法人）」、「フランクリン・テンブルトン・インベストメント・ファンズ・テンブルトン・グロース（ユーロ）・ファンド（ルクセンブルク籍投資法人）」および「テンブルトン・グロース・ファンドⅡ（ケイマン籍投資法人）」へ投資を行ってまいります。

（投資対象ファンド）

長期投資の観点では、ファンダメンタルズ重視の投資家にとっては魅力的な株式への投資機会がもたらされていると考えており、企業価値が株価に十分織り込まれていないと思われる銘柄に注目しています。今後も、あらかじめ特定の業種・国・地域等への投資配分を定めず、株価がテンブルトンの投資理念に基づいて評価した企業価値を下回り割安な水準にあると判断できる銘柄を、長期投資の観点とボトム・アップアプローチにより発掘し投資してまいります。

引き続き当ファンドをご愛顧いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

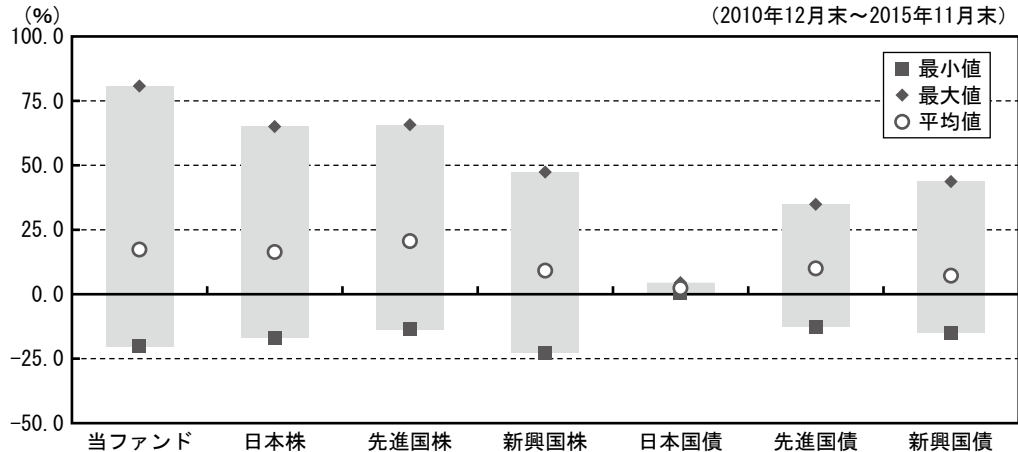
以下の約款変更を行いました。（変更日：2015年2月20日）

- ①平成26年12月1日より施行された金融商品取引法等の一部を改正する法律に従い、投資信託及び投資法人に関する法律第14条第1項に定める運用報告書の交付に代えて、運用報告書に記載すべき事項を電磁的方法により受益者に提供する規定を新設する。
- ②金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号の2に係る信用リスクを適正に管理する方法を定める規定を新設する。
- ③投信振替制度開始以降、信託設定に伴う「新規記録済通知」が発信されるようになった為、不要となった受託者からの追加設定金額明細の交付を廃止する。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	主として、世界各国の株式を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	テンプレトン・グロース・ファンド（米国籍投資法人） フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズーテンプレトン・グロース（ユーロ）・ファンド（ルクセンブルク籍投資法人） テンプレトン・グロース・ファンドⅡ（ケイマン籍投資法人）
	テンプレトン・グロース・ファンド	世界各国（新興国を含む）の株式
	フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズーテンプレトン・グロース（ユーロ）ファンド	
	テンプレトン・グロース・ファンドⅡ	
運用方法	テンプレトン・グロース・ファンド、フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズーテンプレトン・グロース（ユーロ）ファンド、テンプレトン・グロース・ファンドⅡの3つの外貨建て投資信託証券（投資対象ファンド）を通じて、主として世界各国の株式に投資を行い、投資信託財産の長期的な成長を目指します。 当ファンドの外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行わないこととします。	
分配方針	毎決算時（毎年11月28日、休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準、市況動向等を勘案して収益分配金額を決定します。 分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	17.3	16.4	20.6	9.1	2.3	10.0	7.2
最大値	80.8	65.0	65.7	47.4	4.5	34.9	43.7
最小値	-20.2	-17.0	-13.6	-22.8	0.4	-12.7	-15.0

2010年12月～2015年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

≪各資産クラスの指数≫

日本株 : 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株 : MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株 : MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債 : NOMURA-BPI 国債

先進国債 : シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債 : JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。

なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、委託会社で円換算しています。

代表的な資産クラスの指数の著作権等についてはこの運用報告書の最後に記載してありますので、ご参照ください。

当該投資信託のデータ

1 当該投資信託の組入資産の内容

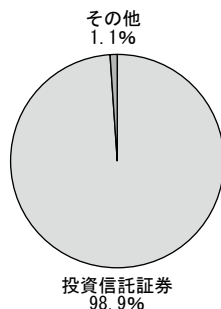
○組入ファンド

(組入銘柄数：3銘柄)

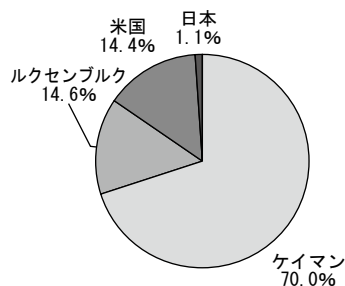
	第9期末
	2015年11月30日
テンプレートン・グロース・ファンドⅡ	70.0%
フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズー テンプレートン・グロース (ユーロ) ・ファンド	14.6%
テンプレートン・グロース・ファンド	14.4%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

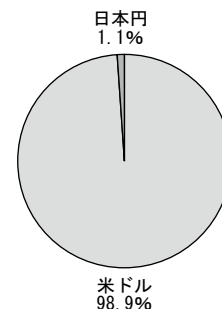
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

2 純資産等

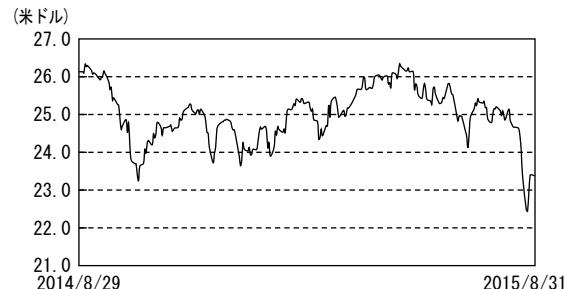
項目	第9期末
	2015年11月30日
純資産総額	1,543,620,262円
受益権総口数	1,514,062,880口
1万口当たり基準価額	10,195円

(注) 当期 (第9期) 中における追加設定元本額は101,685,027円、同解約元本額は845,678,462円です。

3 組入上位ファンドの概要

◆テンプレートン・グロース・ファンド（2014年9月1日～2015年8月31日）

○基準価額の推移



(注) 当ファンドが投資対象とするAdvisor Classの分配金再投資基準価額です。

○費用の明細

(2014年9月1日～2015年8月31日)

管理報酬	0.675%
名義書換事務代行報酬、保管銀行報酬、監査費用等	0.125%
合計	0.800%

(注) 当ファンドが投資対象とするAdvisor Classの数値です。
 (注) 1万口当たりの費用明細に代えて、当期間における各費用の平均純資産総額に対する比率を記載したものです。

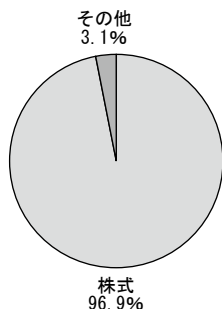
○上位10銘柄

(2015年8月31日現在)

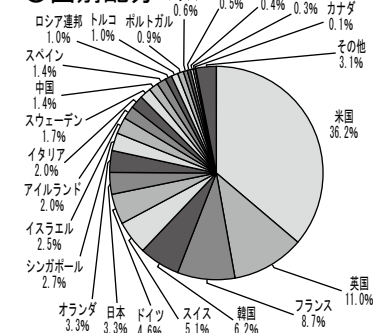
銘柄名	国名	業種	比率
Microsoft Corp.	米国	ソフトウェア・サービス	3.09%
Samsung Electronics Co. Ltd.	韓国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.87
Citigroup Inc.	米国	銀行	2.50
Teva Pharmaceutical Industries Ltd., ADR	イスラエル	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.45
Amgen Inc.	米国	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.06
Pfizer Inc.	米国	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.03
Comcast Corp., Special A	米国	メディア	2.02
Medtronic PLC	米国	ヘルスケア機器・サービス	1.99
CRH PLC	アイルランド	素材	1.97
Roche Holding AG	スイス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.96
組入銘柄数		91銘柄	

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
 (注) 業種分類は、スタンダード&プアーズとMSCIが共同で開発した「世界産業分類基準（GICS）」の24の産業グループを使用しております。
 (注) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

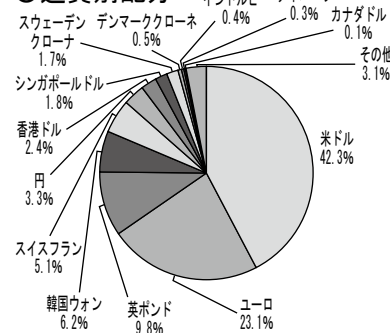
○資産別配分



○国別配分



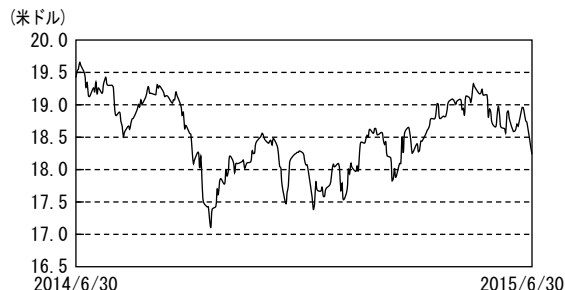
○通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分のデータは2015年8月31日現在のものです。
 (注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

◆フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・グロース（ユーロ）・ファンド（2014年7月1日～2015年6月30日）

○基準価額の推移



(注) 当ファンドが投資対象とするClass I(Ydis)USDの分配金再投資基準価額です。

○費用の明細

(2014年7月1日～2015年6月30日)

運用報酬	0.70%
管理会社報酬、保管銀行報酬、監査費用等	0.26%
合計	0.96%

(注) 当ファンドが投資対象とするClass I(Ydis)の数値です。
 (注) 1万口当たりの費用明細に代えて、当期間における各費用の平均純資産総額に対する比率を記載したものです。

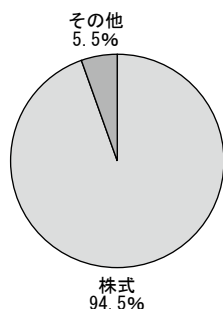
○上位10銘柄

(2015年6月30日現在)

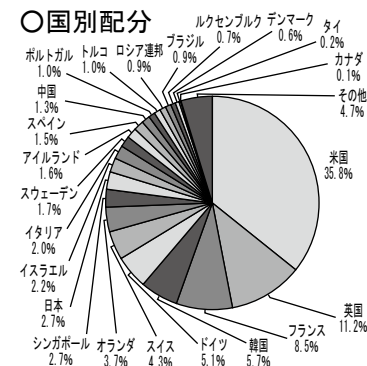
銘柄名	国名	業種	比率
Samsung Electronics Co. Ltd.	韓国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.04%
Microsoft Corp.	米国	ソフトウェア・サービス	3.02
Comcast Corp., Special A	米国	メディア	2.26
Citigroup Inc.	米国	銀行	2.26
Teva Pharmaceutical Industries Ltd., ADR	イスラエル	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.15
Pfizer Inc.	米国	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.00
Amgen Inc.	米国	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.92
Roche Holding AG	スイス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.90
American International Group Inc.	米国	保険	1.87
Sanofi	フランス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.76
組入銘柄数		99銘柄	

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
 (注) 業種分類は、スタンダード&プアーズとMSCIが共同で開発した「世界産業分類基準（GICS）」の24の産業グループを使用しております。
 (注) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

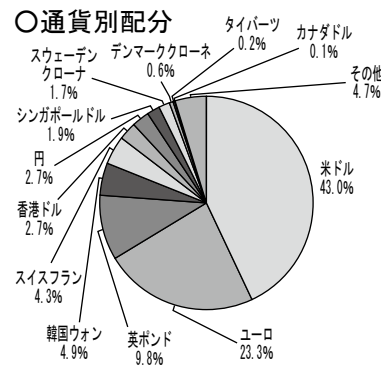
○資産別配分



○国別配分



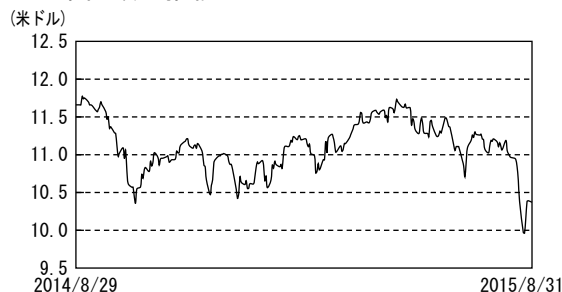
○通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分のデータは2015年6月30日現在のものです。
 (注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

◆テンプレートン・グロース・ファンドⅡ（2014年9月1日～2015年8月31日）

○基準価額の推移



(注) 分配金再投資基準価額です。

○費用の明細

(2014年9月1日～2015年8月31日)

運用報酬	0.63%
管理事務代行報酬、名義書換事務代行報酬、保管銀行報酬、監査費用等	0.20%
合計	0.83%

(注) 1万口当たりの費用明細に代えて、当期間における各費用の平均純資産総額に対する比率を記載したものです。

○上位10銘柄

(2015年8月31日現在)

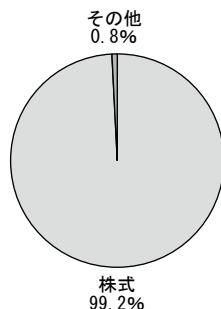
銘柄名	国名	業種	比率 %
Microsoft Corp.	米国	ソフトウェア・サービス	2.97
Samsung Electronics Co. Ltd.	韓国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.96
Teva Pharmaceutical Industries Ltd., ADR	イスラエル	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.91
Citigroup Inc.	米国	銀行	2.90
Credit Suisse Group AG	スイス	各種金融	2.11
American International Group Inc.	米国	保険	2.10
Amgen Inc.	米国	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.06
JPMorgan Chase & Co.	米国	銀行	2.00
CRH PLC	アイルランド	素材	1.97
Telefonica SA	スペイン	電気通信サービス	1.83
組入銘柄数		83銘柄	

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

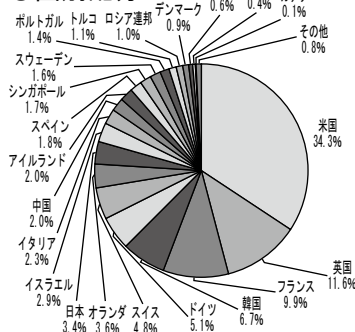
(注) 業種分類は、スタンダード&プアーズとMSCIが共同で開発した「世界産業分類基準（GICS）」の24の産業グループを使用しております。

(注) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

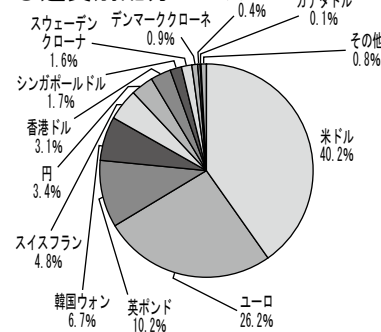
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分のデータは2015年8月31日現在のものです。

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

<代表的な資産クラスの指数の著作権等について>

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）は、株式会社東京証券取引所（株東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数（TOPIX）の商標又は標章に関するすべての権利は株東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、株東京証券取引所により提供、保証又は販売されるものではなく、株東京証券取引所は、本件商品の発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

○MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI コクサイ・インデックスおよびMSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、NOMURA-BPI 国債を用いて行われるフランクリン・テンブルトン・インベストメンツ株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

○シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

シティ世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCの知的財産であり、指数の算出、数値の公表、利用など指数に関するすべての権利は、Citigroup Index LLCが有しています。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドは、J.P. Morgan Securities LLCが公表しているインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属しています。



FRANKLIN TEMPLETON INVESTMENTS

フランクリン テンプルトン インベストメンツは、創業以来
ベンジャミン・フランクリンの肖像画をロゴマークとしております。
創業者ルーパート・H・ジョンソン Sr. は、
“With money and financial planning, prudence comes first.”
(お金を増やそうとするときに一番大切なのは、用心深さである。)
というベンジャミン・フランクリンのビジネス哲学に深く感銘し、
アメリカ建国の父でもあり、偉大な科学者、
そして優れた投資家でもあった彼の名を社名に冠しました。
ベンジャミン・フランクリンの肖像画を用いたロゴマークは、
ご投資家の皆様にとって、
フランクリン テンプルトン インベストメンツの資産運用サービスに対する
信頼と安心の象徴となっております。